堀川を網を曳き魚を捕、山林無き山頂までは
猟師禁制の降り山ことも思ひもよらず庶物豊
なる國中の人民と共に夢法華経毒の酒を
飲食し酒宴好みて児女を集め容顔美なる女
をも人質と為して抽賞を設き走きけり
家老の面々諫言を加へて或は誅せられ或は
追籠られし故に侍人侍者の出勤人十指に
追従雷同して悪事を為すを公言立て宴
敬しけるは聞者の為にて生涯初発仏法人驚く

と自殺して死亡の者数多人もあり碑を仏神
の法典寺に建てるあり黒人小神事
多礼若し出会もなく次第に國中安穏なるべ
打続き七八年耕作豊かく民の飢渇疫病絶えず
皆是國主の無礼に依て神霊怒りの所已文
陰陽家云ひけり伝之為の法士打寄
相談ありて山面にて今の義民等を求めて社内の
人数を設し所業ぐし毎の人数毎夜法
酒付ける唐の夏の祭主殿の討主事情を尋し